

職員による自己評価

A環境面

3単位分けしたことで、学年や障害特性で分けたことで支援がしやすくなっている。

単位によっては狭いので、広く使用できるようにしたい。

B児童への支援内容

障害特性によって単位を分けたことで、全体療育を以前に比べて実施できるようになった。

外出を多く取り入れることができている。

C関係機関との連携

支援学校などは特に情報共有を行っており、児童の様子や支援について共有を行なっている。

ケース会議や地域連絡会などにも参加し、他サービスなどとも情報共有している。

D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳をアプリにしたことで、写真を毎日お渡しし、視覚的に支援内容を確認していただくことができるようになった。

E非常対応

半年に一回実施し、その様子は親御さんにもお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

- ・広さもよく、子供も教室を気に入っている。
- ・資格者の状況がわからない

B児童への支援内容

- ・療育というよりも保育園に似ているような感じ。
- ・身体を動かすプログラムが良い。

C事業所からの情報発信

連絡帳や送迎時に伝えていただいている。

面談時には細かく伝えてもらっているが、送迎時にももう少し詳しく教えてほしい。

D非常対応

避難訓練を毎月実施してもらっているのは安心できる。

事業所内での分析

【共通点】

- ・行事や取り組みを評価していただけている。
- ・単位で特性分けを行ない、療育がより実践できている。
- ・学校よりも楽しみにしている。
- ・身体を動かすプログラムが良い。

【相違点】

- ・資格者の状況がわからない
- ・送迎時の報告をもっと細かく行なってほしい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 豊富なレクリエーション、外出行事。
- ・ 障害特性に応じたクラス分け、療育プログラムの実施。
- ・ 身体を動かす取り組み。
- ・ アプリでの情報発信（毎日の写真配布など）

事業所の改善点

- ・ 資格者の周知
- ・ 送迎時の報告は細かく行なう。

事業所の改善への取り組み

ご家族が不安になられる内容を事前に想像し、安心して利用できる環境を整える。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

面談時には聞けない内容もあったため、確認できたことで改善につなげることができた。

事業所名 アレッタ児童デイサービス弘明寺
担当者 半田 浩輔